

[主催] 同志社大学 一神教学際研究センター(CISMOR)
同志社大学 グローバル・リソース・マネジメント (G R M)
[共催] 同志社大学 神学部・神学研究

CISMOR 公開講演会

国際協力と宗教

－ODA(開発途上国支援)の現場から考える

【ゲストスピーカー】

三木 隆文

元 JICA プロジェクトコーディネーター

【コメンテーター】

王 柳蘭

京都大学地域研究統合情報センター／京都大学白眉センター特定准教授

【司会】

四戸 潤弥

同志社大学神学部・神学研究科教授／CISMOR センター長

2015年6月19日(金) 16:30-18:30

同志社大学今出川キャンパス 同志社礼拝堂

【プログラム】

- | | | |
|------------|-------------|-------|
| 1) 挨拶・講師紹介 | 16:30-16:35 | 四戸 潤弥 |
| 2) 講演 | 16:35-17:35 | 三木 隆文 |
| 3) コメント | 17:35-18:00 | 王 柳蘭 |
| 4) 質疑応答 | 18:00-18:30 | |

【講師略歴】

三木 隆文 (みき たかふみ)

1952年兵庫県に生まれ同志社大学（心理学専攻）に進学する。大学在学中に福祉施設でのアルバイトから着想を得て、海外との関わりのある活動に興味を抱き、北欧での福祉施設研修に採用が決まるが、その準備中に家庭の事情で断念する。大学卒業後、社会福祉施設で約5年間働いていたが、そこでは海外との関連がなく海外関連の業務に就くべく社会福祉施設を一旦退職し、海外と関連する求職活動をしながら英語の研鑽に勤しむ。その後、今次の講演につながる国際協力業務に係る職を得て、財団法人国際協力サービスセンター（当時）にて研修監理員として、主に国際協力事業団（当時：現国際協力機構＝JICA）の国内技術研修業務に従事する。その経験を積んで後、JICA 海外技術協カプロジェクトへの派遣が決まり、最初の在外任地であるフィリピンへ赴任する。以後、国内での技術研修事業の研修監理業務、研修受託業務、無償資金協力による留学生支援制度、JICA 海外プロジェクトコーディネーター等に従事する。現在はタイ南部国境県のマレー・ムスリムの反政府分離運動の背景を探ることを主たるテーマとして、イスラームやその他宗教・国際関係等についての研究を続けている。

【コメンテーター略歴】

王 柳蘭 (おう りゅうらん)

神戸市生まれ。

神戸女学院大学卒業後、京都大学大学院人間・環境学研究科進学（人間・環境学博士）。その後、京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科助教、日学術振興会特別研究員 RPD を経て、現京都大学白眉センター・京都大学地域研究統合情報センターにて特定准教授として所属。

専門領域は文化人類学・地域研究、研究課題はアジアにおける中国系ディアスポラの多元的共生空間の生成（タイを中心に、中国、台湾や日本におけるフィールドワークも行っている）。

〈自己紹介〉

移民研究をはじめたきっかけは、台湾系 2 世の父と日本人の母に育てられた文化的民族的背景が強く影響していると言ってもよいでしょう。けれども、もともと英文学科出身であり、自分の出自につながる中国や台湾系の移民を研究として取り組む意識はさほど強くありませんでした。きっかけとなったのは、大学や大学院時代を通じて今に至る人類学に導いてくれた恩師の励ましです。また、「己を問う」ことを通して学問をすることの大切さをフィールドワークから学ぶことができたことも、研究を続けていく支えになっています。東アジアと東南アジアの境界線上で生じる移民の生き方、祈りを通じて共同体を形成していく宗教の動態や民族間の関係、開かれた多元的な共生のあり方に関する人類学・地域研究を志しています。

【次回講演会】

—神教学際研究センター・良心学研究センター主催

公開シンポジウム

「環境問題と良心——未来世代のために今考えなければならないこと」

講師：①小原克博「環境倫理とキリスト教——良心の個別性と普遍性を考える」

②和田喜彦「『科学技術』開発を多面的視点から監視せよ」

日時：2015 年 7 月 11 日(土)13:00-15:00

場所：良心館 107 教室

入場無料・事前申込不要

MEMO

- 入場無料・事前申込不要
- お問い合わせ 同志社大学 一神教学際研究センター(CISMOR)
TEL:075-251-3972 E-mail:info@cismor.jp
HP: <http://www.cismor.jp/>
Facebook: <https://www.facebook.com/doshisha.cismor>